

令和4年度 第1回学校評価（教職員） まとめと見解

八王子市立小宮小学校

校長 安藤 臣一

初秋の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。日頃より本校の教育活動に際しましてご理解とご支援を賜り誠にありがとうございます。

さて、令和4年度7月に実施いたしました学校評価（教職員）の内容についてその結果をまとめましたのでご報告いたします。教職員の学校評価については、本結果を各校務分掌担当者が分析し教育活動の改善に生かしております。内容をご一読いただき、ご質問ご意見等ございましたら、お問い合わせくださいますようお願いいたします。

【1】実施時期 令和4年7月3日～7月26日

【2】回答率 教職員数 28 回収数 28 回答率 100%

【3】各項目結果のまとめ

A…あてはまる B…だいたいあてはまる C…あまりあてはまらない D…あてはまらない E…わからない

No.	評価項目	AB 評価率	CD 評価率
1	本校は、学校・学年・学級の目標や、重点テーマ目標「伝える つなげる ゴースマイル」の実現に向けて取り組んでいる。	100%	0%
2	本校は保護者に対して適切に情報を提供している。（学校便り・学年便り・学級便り・ホームページ等）	100%	0%
3	本校は、地域の方やお家の人から学ぶ活動「畑での栽培活動、読み聞かせ等」に取り組んでいる。	100%	0%
4	分かりやすい授業となるように工夫している。	93%	7%
5	本校は授業において、説明、板書、発問、視聴覚機器（I C T 機器）の活動等の工夫に取り組んでいる。	97%	0%
6	作品・ノート・新聞・テストの採点等は適切・公平に評価している。	93%	0%
7	本校は子供の将来の進路や職業について適切に指導している。	77%	15%
8	本校の子供たちは落ち着いている。	97%	3%
9	本校は子供の生活指導（挨拶・言葉遣い・学校のきまり等の指導）に取り組んでいる。	90%	10%
10	本校は教室を整理整頓し、子供と一緒に清掃活動に取り組んでいる。	100%	0%
11	本校はいじめに適切に対応し、いじめのない学校づくりに取り組んでいる。（子供へのアンケート実施・子供の話を聞き相談にのる、保護者・関係機関と連携している）	100%	0%
12	本校のご家庭では、早寝・早起き・朝ごはんに努め、挨拶・しつけを定着していただいている。	93%	3%
13	本校の児童は、家庭学習に取り組み、習慣として身につけている。	65%	21%

【１（目標）－②】今年度これまで取り組んできた学校・学年・学級の目標や、重点テーマ目標「伝える つなげる ゴースマイル」および重点コンセプト「自立・主体・自主」（KDD）の取り組みについて、ご意見をお書きください。

- 学校全体で「KDD」を意識して教育活動に取り組んでいると感じる。
- クラブ活動では児童だけで自主的に徐々に活動できるようになってきている。「KDD」の言葉が学校全体で周知されているので、児童も自主的に取り組むことが増えてきている。
- 伝える集会、委員会・クラブ、各学年学級での様々な取り組みの中で KDD が浸透してきている。KDD の実現は高学年でも非常に難しいこととわかっているが、低学年からその意識をもって過ごせることは価値が大きいので、継続していきたい。
- 子ども達の声の中から「KDD」が聞かれることがある。言葉として浸透することはとても大切なことだと思う。２学期には子ども達の具体的な姿を通して更に全体に広げていけるとよいと思う。
- 委員会やクラブなど６学年の担任として子供たちが思い描いている KDD が実現できるように適宜、指導・助言を行っている。
- 授業の声掛けの際、KDD を意識することで、児童の考えを引き出せることができた。以前よりも、児童にとって良い授業展開になっていると感じているので、とても良い取り組みだと感じています。また、その他の校内での取り組みでも、児童が生き生きとしていることが目に見えてわかるため、良い影響が出ているように感じます。
- 授業では話し合い活動などのコミュニケーションを取る練習を、支援教室に通う児童に対して実施した。分掌では特活部として、委員会・クラブともに児童の発信を ICT を活用して行わせ、色々なアイデアが生まれるように支援している。
- 伝えよう、伝えたい、という気持ちが学年関係なく学校全体に広がってきている。
- 委員会の児童の様子を見てみると、やってみたいこと・それを実現するために何が必要なのかを自主的に考えられる児童が多くいます。
- 朝会での「伝える」シリーズ。自主的な申し出と発表、素晴らしいです。また、各学年や学級での様子の活動の度に「KDD」を意識させている様子を拝見しています。
- KDD という言葉によって、子供たちも意識しやすくなり子供たちと一緒に頑張ることができるようになったと思います。私も KDD の発表をしてみて、伝えることの難しさや楽しさを感じることができ、その気持ちを子供たちと共有できたのもありがたかったなと思いました。
- 「子供だけでできる」は合言葉のようにしてやってきた。１年生なら１年生なりの KDD ができるので、合言葉にしてよかったと思います。
- 学校全体で共通理解して取り組めていることが、とてもいいと思います。
- 教科の学習で自分たちで目標を立て学習をしたり、当番や係活動で子どもたちで計画を立てたり活動を振り返る時間を確保した。
子供にもなじみやすい目標やコンセプトで、意識して取り組みやすいと思います。
- KDD はどの活動にも当てはめられるので、KDD を体現するために具体的に何をすべきなのかを考えさせるようにしました。
- 「自主的に行動する」「すすんで取り組む」などの言葉より KDD と一言でメッセージが網羅され、指導しやすい。先生がいなくても機能（今後どんなメンバーでもどんな教員とでもいい集団をつくろうとする児童、児童主体の集団づくり）できることをめざしていたので、この言葉は目からうろこでした。

	○KDD で取り組めるようになるため、指導を続けていきます。 ○子どもの主体的な行動をほめる声かけを行った。また、チャレンジを阻むような批判的な言動には指導を行い、子どもがより自分らしさを発揮し、主体的に行動を起こせるよう支援した。今日の思いやり報告会を帰りの会に行った。 ○積極性が育ってきている子どもたちが、確実に増えてきていると思います。 ●委員会などで、「KDD を目指しているのに、あまり口を挟んではいけない…」と感じますが、前年度の引き継ぎや反省を知らずに委員になる児童がほとんどのため、「こうした方がいいんじゃない？」と言わざるをえない場面が多々あります。どれぐらいなら指導や助言をしても良いのか、KDD できないといけない部分はどの辺りなのか、と、いつも迷い、不安に思いながら、指導しています。絶対に KDD できてほしい部分はどこなのか、先生方で共通理解することができたら、今後の児童の活動に適切な声掛けができるのではないかと感じています。 ●「子供だけでできる」ようになるためのプロセスを教員で共通理解があるとよいと思います。 ●KDD は、全校共通で分かりやすいです。ただ、どんな力をつけさせたいのか、そのためにどんな手立てがあるとよいのか、模索する日々です。でも、例えば宿題の計画を例にあげても、この主体的に学ばせるという未知の経験が私たち教員にとっても、子供たちにとってもすごくよい経験になっています。 ●小宮小学校は落ち着いているからこそ、児童の主体性、自主性に挑戦することができる。KDD を児童が意識することで「先生の言うことを聞いていればよい」という意識から脱却し、より高い目標をもつことができると考える。その意味から、現在の方向性は間違っていないと思うが、「宿題のない学校」を目指すには、学年の系統性を整理し、手立てを検討する必要がある。 ●まだまだ実現への道のりは長いなという印象です・・・ ●宿題をなくしていくという話がありましたが、3 年生は毎日宿題を出しています。それプラス自主学習を行っていくようにするにはどのように取り組んでいけばいいのか悩んでいます。宿題を今後なくしていくことを考えると、どの学年からどのような家庭学習を児童に考えさせていくのかをより細かく計画していく必要があります。児童の実態と自主的にしていきたいという学校側のすり合わせを学校全体で話し合うことが必要だと感じております。
2	【2（情報公開）－②】本校の今年度の情報提供、情報公開について、ご意見をお願いいたします。 ○校長先生が毎日 HP を更新してくださっているので、学校の様子がよくわかる学校になっていると思います。自分自身も、保護者に学級通信を出して情報発信していきたい。 ○保護者に対し必要な情報を選択し提供できていると感じる。6 学年においても各担任が学級通信を作成し学級の出来事や雰囲気伝えることができている。 ○授業の様子を伝えていただいているのでありがたいです。 ○充分すぎるぐらい情報提供できていると思います。日々の学校生活について、特にです。 ○ホームページに学校の様子が常に更新されていたり、各学年のお便りがしっかりと乗っていたりするので、適切に提供していると思います。 ○昔…と言っても 10 数年前からは考えられないような情報提供の量だと思います。校外学習の時など、1 時間ごとに情報を発信されていて、驚きです。正直そこまでなくても良いのでは？と思ってしまうほど。先生方の負担になっていないかと、少し心配になってしまいます。 ○HP 更新を毎日されています。授業の内容や遠足など詳しく伝えてるので、保護者の方が安心すると思います。

	○毎日の HP アップロードを楽しみにしている保護者もいます。（面談で聞いた）十分な発信だと思います。 ○毎日のホームページで学校生活の様子がよくわかります。授業の様子では、指導法など参考になります。 ○十分だと思います。 ○校長先生のページの情報が充実していると思います。 ●オンライン授業について。保護者の中には欠席したら必ずオンライン授業を受けられると思っている人がいる。教室の授業で手いっぱいになるときがあり、当然と思われると負担になる。つなぐ余裕がなく授業を始めてしまったり、途中で切れていて気づかなかつたりすると、苦言が寄せられることがあった。 ●毎日授業の様子を HP に載せており、しっかりとできていると思っている。学級通信はもう少し多めの頻度で書きたかった。 ●学級便りの発行には差が感じられるが、十分な情報提供はされていると思う。 ●校長先生に毎日、子供たちの様子を配信していただいていることが保護者の方の安心感につながっていると毎年感じています。その一方で紙のほうが…という意見が面談や保護者の方との雑談ででてくのが、難しいなと感じています。（私としては、印刷・配布がなくなったことのありがたさもあるので。） ●C4th になって、月に 1 回の学年だよりだったころよりも、小まめに情報を提供することができていると思います。学年だよりが、シンプルになった分、作成も楽になり見る保護者の方見やすいのでは？と思います。ただ、小宮は、まだまだ紙の方がよいという方も多いのかもしれませんが…教員側も保護者側も少しずつ慣れていけるといいです。そして、紙ベースの方がよいもの、C 4 t h の方がよいものを必要がある時は検討すればよいのかなと思います。 ●特に大きなクレーム等はないようなので、問題は無いかとは思いますが、C4th などを活用した情報量がとても多く、複数学年に児童がいる保護者の方には情報過多になっていないかなと少し感じています。また、C4th やホームページの閲覧習慣のないご家庭についても要検討かなと思います。
3	【3（地域との連携）－②】本校の今年度の地域の方やお家の人から学ぶ活動「畑での栽培活動、読み聞かせ等」についてご意見をお願いいたします。 ○畑での栽培活動は、なんかいただいてばかりで申し訳ない感じですね。たまにある読み聞かせは、良い機会だと思います。読書する子が減っているのです。 ○特に毎年野菜作りなどでお世話になっている小宮小農園を提供してくださる方には、感謝しかありません。 ○6 学年においては 6 月にじゃがいも掘りを実施させていただき、「地域からの学び」を実践することができている。 ○栽培活動は年間を通してお世話になっていて、とてもありがたいと思います。畑もすぐそばにあり、ありがたき環境です。 ○畑での栽培活動など、児童にとって貴重な体験をさせていただいていると思います。 ○畑での体験活動は、本当に有難いと思います。小宮小農園を提供してくださる方に感謝しかありません。 ○読み聞かせが大変ありがたく、保護者の方の工夫によって子供たちの読書に対する気持ちを高めることがつながっていると思います。 ○読み聞かせは、1 時間たっぷり確保されているのでいいなと思います。 ○市の図書館との連携で学級文庫をお借りすることができるので、学年で継続していきたいです。 ○小宮小農園を提供してくださる方に大変お世話になっております。ありがとうございます。”

	○今年度は、なかなか見通しが持てず、任せっぱなしになってしまいました。 ○いろいろな制限がある中で、工夫して実施できていると思います。地域・保護者の方に感謝です。 ○小宮小農園を提供してくださる方に感謝しかありません。学期に1回のボランティアの方の図書の読み聞かせもとても充実しています。 ○畑の小宮小農園を提供してくださる方に感謝です。読み聞かせについても、事前に内容の相談等が丁寧で感謝でしています。 ○読み聞かせでは、本校の保護者から、児童の関心を引く読み聞かせをして頂き満足している。地域の方から頂いた植物を育てることを通して、子どもたちは観察を行うことができた。 ●「栽培」活動となるように取り組めるものが1学年に1つでもあればよりよいと思う。年間指導計画（生活、総合？学活？）に位置付けないと、現状の収穫のみ…はなかなか変わっていかない。 ●活動内容と発達段階を考えると、高学年の保護者による評価を上げるのは難しいなと・・・ ●6年生は、理科の学習のためにじゃがいもの収穫をさせてもらったのですが、実際は理科では使わなかったのも、もし大丈夫でなくしてもよいのではないかと思います。 ●ありがたいけれど、農家の方が、当日や前日に、収穫物をくださるのは、予定があり人手もないので、大変です。 ●畑を提供していただいている小宮小農園を提供してくださる方には、とても感謝です。ただ、もう少し地域の方とつながる学習があってもよいと思う。模索していきたい。
4	【4－⑤】今年度が始まって4か月の学習指導を振り返り、成果と課題等ご意見を入力してください。 ○2学期以降は、計測時保健指導や保健学習を実施していく。タブレットを活用した保健学習も計画している。 ○生涯を通じて音楽が楽しめ、音楽が授業で嫌いにならないように「誰でもできた」を実感できる授業を日々目指している。リコーダーなど、技術の技能差を感じる。「できた」から、「もっとやってみよう」技能を伸ばせる授業ができるように努めていきたい。 ○（成果）ICTを活用しての授業は子供たちも自分の考えをたくさん書くことができていると感じる。 ●（課題）学習内容の定着が厳しい。事前に間違えそうなところを考えて指導しても結果が出ない。家庭学習の取り組みに差があるところになかなか良いアプローチができない。” ○●昨年度の経験を生かして、今年度はICTを使うとよいものを考えながら授業をすることができました。課題としては、学習が難しくなってきたこともあり、取り掛かりから諦めがちになる子がいる場合もあります。分かる授業、分かったと思える授業づくりを今後も意識していきたいと思います。 ○書写では、過去2年間の反省をもとに、課題に応じた教材の用意や分かりやすい学習内容の提示方法などについて工夫してきた。波はあるが、これまでの学習の成果が積み上がってきたことを実感できることが増えてきた。今後、児童にとっては取り組みにくい課題もあるので、より取り組みやすくしていけるよう努力していきたい。 ○昨年度からこの学年を受けもち、市の学力調査では市内で中位の学力を保っている。今年度は学級の雰囲気作りを大切に、教え合ったり励まし合ったりする交流活動を重視している。活動を通し児童同士が理解を深め、また学習に苦手意識をもつ児童の意欲も高められたと感じる。 ●課題としては各調査から応用的な問題への対応が挙げられる。応用的な問題に取り組む機会を多く設け、課題の解決を図っていきたい。 ●少人数算数ゆえに、学習進度を合わせなければならないが、予定している単元の学習以外に多々課題が見られる（四則計算や数量関係など）。既習の定着状況に課題を感じているので、その解決方法や手立てを工夫し、考えていきたい。 ○2年目になり、児童との関係づくりが出来てきた。

- 課題は、活動の幅、教材研究の時間を増やして、昨年度の反省が生かせるようにしたい。”
- （成果）児童の課題を洗い出し、保護者と児童の4者面談を実施し、特別支援教室の利用の意義を学校と保護者、そして児童本人に確かめることができた。
- （課題）子供たちの困り感を授業内で引き出し、それを解決する手だてを考えさせるような授業づくりに至っていない。”
- こみつきいとして、児童の実態にあった小集団学習、個別学習に取り組んできました。今後もさらに児童の成長のために指導を積み重ねていきます。
- 3年生にとって初めての社会科では、もっと丁寧に指導するべきだったと感じています。社会科で必要な見方や考え方（視点）などをわかりやすく一緒に思考する時間をもっととるべきでした。また、1学期で漢字学習の苦手さが分かったので2学期に漢字学習の進め方を見直したいと思います。
- 成果
- ・他学年にも学習の仕方を教えていただいて、共有できる教材があることで学習指導を学年で偏りがなくできた。
 - ・学年でICTを使用した学習指導を共有していただいたことで、自身のICTを使った授業をすることができた。
- 課題
- ・ミライシードについて分からないことが多く、今後も使いながら効果的な学習ができるようにしていく必要がある。
- ICTを活用した指導をすすめることができたが、デジタル機器の正しい使い方については繰り返し指導が必要であると感じた。
- 字を丁寧に書く習慣が育ち始めている…という気がします。夏休み明けには、どうかと思いますが。ICT機器については2学期以降に取り入れて行きたいです。
- 成果 自主学の交流学习など 課題 幅広い知見（教材研究）をする時間の確保
- ICTを活用していけるように工夫をしていきたい。
- 児童が主役になる授業を作ることが課題。
- 成果としては、授業時に目当てを必ず書き、見通しを持たせるようにしていることが挙げられる。
- 成果
- ・作文 思いつくままに書いてしまい、書きたいことの中心がはっきりしない文章や、「楽しかったです。理由の1は、2は・・・」など、型にはまりすぎて書きたいことが伝わらない文章を書いている子がいたが、次第に、書こうとする題材の中心を詳しく書き、生の考えや気持ちが伝わってくる文章が書けるようになったきた。
 - ・話し合いやグループ学習 友だちの話を聞く雰囲気が出てきている。
 - ・ローマ字入力が3年生の時より速くできるようになっていたのので、授業の中でタブレットを使っても、それを使って交流したり考えたりすることが、何回かできた。
- 課題
- ・基礎学力に課題のある子どもたちで、計算や作図などの繰り返し練習に、一生懸命取り組ませてきたが、まだまだ必要である。
 - ・読解力が身につけていないので、すべての教科で、壁になる場面がある。粘り強く指導を続けたい。
- 学校全体が落ち着いてきているがゆえに、学習の課題が浮き彫りになってきている。
- 学習に対する意欲をどう高めるのか、学んだ学習内容をどう定着させるか、このあたりをさらに考えていきたい。”

- 素直な児童が多く、係や委員会の仕事にも意欲的に取り組む姿勢があると感じる。担任の先生や専科の先生、管理職の先生が児童のことをよくみて様子を把握しているため、今後も児童理解夕会やいじめの「ヒヤリハット」と活用して職員間での情報共有を密にして、支援や配慮が必要な児童に対しても学校全体で対応していけるようにしたい。
- 黙々清掃など、昨年度よりも更に静かに取り組んでいる。どの学年も昨年度より落ち着いていると感じる。
- 生活保健部を中心に、よく対応に動いている。日常の指導において、教職員1人ひとりの指導内容や熱量に差を感じることがあるので、共通理解を深めていきたい。
- いじめ対策については、試行錯誤しながら小宮の形を創り上げてくれた。さらに改善の余地があるかもしれないが、意図的で価値のあるいじめ対策が進められている。”
- （成果）清水移動教室に向けての生活改善で全体的には良くなっている。
- （課題）大人に対して敬語が使えない。”
- おおむね落ち着いているとは言っても、放っておくと荒れてしまったり、いじめにつながってしまったりという可能性があるヒヤリハットは日常的に起きています。教員側の児童を見ていく視点は、以前よりも人権を意識できていると思います。それに伴って、子供たち自身も考えて行動できることや、お互いに声を掛け合うことなどができていると思います。ただ、油断は常にできませんが…SNSやタブレットの使い方は課題だと思います。ただ、SNSやタブレットから離れての生活は難しいので、それだけ子供たちの人権意識を高めていけるようにしたいです。
- 先生方の日頃の苦労や努力をひしひしと感じる。挨拶や言葉遣いなどが気になる場面も少なくはないが、全体としては着実に向上しているように感じる。
- 今年度になり受け持つ児童に対しては学校全体のお手本になることを一貫して話してきた。子供たちもしっかりと話を受け止め行動で示してくれていると感じる。1学期末時点では校内外に関わらず大きな問題はなく、このことは成果として捉えている。課題としてより子供たちの内的要因に働きかける指導の必要性を感じる。
- 学年によるが、指示待ちの子がやや多い印象がある。全体的に大きな問題は少なく、子どもたちも落ち着いた印象ではあるが、それが同時に無気力（覇気がない）にも見える。
- 全体的に挨拶が進んでできている児童が多い。
- 廊下を走る・ボールの扱い方が守れていないため、運動委員会でも働きかけていきたい。”
- （成果）休み時間などの授業外の時間、子供と関わることを増やし、支援教室に通う以外の児童についても課題を発見したり、時にはトラブルに仲介することができた。
- （課題）児童の指導について声をかけるだけで終わってしまい、その場での指導や担任との連携につながっていないことがある。”
- 教師の見ていない時に、廊下を走る様子が見られる。今後も指導を続けていきたい。
- 挨拶など児童から気持ちよくしてくれています。今後の課題としては、元気いっぱいな分、元気があまり、廊下を全力で走ってしまう児童も中にはいます。廊下は走らない、学校内では落ち着いて過ごすことを指導していきたいと思います。
- 登校時間に遅れる児童（遅刻寸前で登校する児童）の数が減ったように…思います。相変わらず廊下を走っている児童はよく見かけます。
- 小宮小のきまりをもとに、子供たちに指導をするということを意識していましたが、校庭でのルールについてまだ指導しきれていないことや見逃していることがあると感じています。自分自身が校庭に出て子供たちの様子を見ないといかなくてはいけないと反省しています。
- 成果
 - ・朝のもくもく清掃は、子どもたちが落ち着いて1時間目に入ることができた。
 - ・ギスギスした雰囲気がないのは、子どもたちを認めたりほめたりしていくことが職員全体として あ

	るからだと思う。 ・ヒヤリハットに書き込む時間が設けられていることで、自然と学年での共有ができるのでありがたい。 ●課題 ・タブレットの使い方を早い段階で学校全体に打ち出していただけると、学級ごとでの偏りがなくなる。 ●挨拶をもう少しでできるとよい。また、返事、聞く姿勢、相手を思いやる言葉遣いなど、気になるとことはあるが、一つ一つ、意味を持たせて指導したい。 ●ほとんどの児童は家庭の協力や理解を得て、落ち着いて生活できていると思います。その一方で、少数ですが、気になる児童もいます。家庭との連携をどうとっていくか…。 ●成果は、おおむね落ち着いて生活できている点です。課題は、校庭や公園での遊び方など、同じことで指導を繰り返していることです。 ●1学期の終わりは学校内を走り回る児童が散見され、落ち着きのなさを感じた。 ●廊下を走ってしまう児童が多いように思う。また、「他学年とかかわるならオープンスペースで遊んでも良いんだよね…、外は暑くて熱中症が心配だし…」というような気持ちをもっているような気がします。共通理解し、再度指導できたら良いと考えます。 ○成果 自分たちの生活を見つめる活動（生活改善） ●課題 できるようになったことを習慣化すること ●怒ったときに手を出してしまうことが、たまに見受けられることが課題。成果としては、いじめ事案が発生した際には、迅速に報告、共有を行い、組織的に対応を行うことができたことが挙げられる。 ○高学年から、学校の決まりを守ることが身についていて、下の学年に受け継がれている。 ●4年生に関して言えば、なぜそういう決まりになっているのかを理解して自分から守ろうとする子どもは少なく、まだ叱られるから守るという段階で、意識は高くない。 ○生活保健部を中心にしっかりといじめ対応ができていると思います。学校生活では、「小宮小のきまり」の振り返りが今年度から実施したことで、より児童がきまりを意識していくようになると思います。
8	【6（家庭）－③】本校の児童の家庭での生活習慣や家庭学習について、ご意見を入力してください。 ○主体的に計画を立てて学習させていて少しずつ成果がでていると思います。ただ、正直、このやり方にしてから漢字テストの点数が極端に悪くなった児童もいます。なので、練習がしやすいように自由にプリントをとっていいシステムや、漢字テストの予定を早めに知らせるなどして工夫しています。今後も子供たちの実態に合わせて工夫していきたいです。 ○家庭による意識の差が児童の成長への差となって表れてしまうことは、仕方ないことかもしれない。しかし、あきらめる訳にはいけないのが学校の抱えた使命だと思うので、粘り強く丁寧に啓発を続けていくことが必要だと思う。 ○家庭学習については昨年度から引き続いて自主的な学習を促している。計画実践振り返りが身に付いてきている児童が増え、それに伴い学習に対する意欲や力の高まりを感じられるようになってきている。生活習慣については8時15分までに朝の準備はできている。しかし家庭の状況によって体調を崩してしまう児童が存在する。家庭との連携を図ろうとはしているが難しい状況が続いている。兄弟が在籍する学級の先生とも協力し課題を解決していきたい。

	○就寝時間が気になりますが、子供たちも習い事などが多く大変なのだとすると難しいと感じています。 ○家庭学習の定着はできていると感じる。保護者の方がサポートしてくださっていることが伝わってきます。朝ごはんを食べていない児童、寝るのが遅い児童がいることは、学校生活でも影響がでていると感じました。 ○宿題以外は学習に励まないように感じる。もう少し、啓発し、学習の面白さにきづけるように指導したい。 ○学習に向かう意欲をつけることが、学習の力を延ばし、生活力もアップする。 そのうえ、友達との関係もよくなっていくはず。 ○学習する喜びに気付ける取り組みを工夫していきたい。” ○大体の家庭は、基本的な生活習慣を身につけて、落ち着いて学習できる環境を整えている。ただ、いろいろな面で幼さを感じ、経験不足からきているのではないかと思われるので、もう少し自由に多様な活動させる家庭環境があると、学力の伸びのもつなげるのではないかと思われる。 ●動画視聴に夢中になり、寝る時間が遅くなっている児童もいるように感じます。 ●家庭学習については、差があると感じています。宿題ができていなかったり、中途半端だったりして、残して学習する子が2・3人います。低学年なので、残す時間がありますが、今後6時間目までの授業になると難しいので、ここで、家庭学習をする習慣を身につけさせたいです。 ●宿題はなんとかできる（見ていただけている）かなと思いますが、自主学習はそれほどでもない（個人差がある）のでは…と思います。 ●家庭環境から早寝ができないなど、気になる家庭があります。またタブレット端末やゲームの時間など、やりすぎている児童も多いので、これらの機械とは切り離せない世代なので自分で上手に扱えるよう指導を考えた方がいいと思う。 ●家庭環境にとらわれずに子供だけで自立するのはなかなか難しいと思います。もう少し子供のことを気にかけてほしい。家庭学習をやっていない状況を把握していないのはどうかと思う。居眠りや遅刻などをする子はやはり学習で厳しいところがあるように思えます。
9	【7（その他）】令和4年度のこれまでの小宮小学校を振り返り、ご意見を入力してください。 ○養護教諭からの提案（朝の健康観察及び欠席調べに欠席理由を詳細に記入し副担任の先生に届けてもらう、休み時間や体育の前に暑さ指数を測り熱中症の予防に努めるなど）について全体で検討してすぐに実施させていただいています。学校保健活動への先生方のご理解ご協力に感謝しております。 ○教職員全体で児童の指導に取り組めているので、児童も素直で明るい子が多い。昨年度もコロナ対応をしながら、たくさんの行事に取り組み、主体的に行動できる児童が増え、良い意味で変わったと思う。 ○先生方、日々の様々な対応に「子どもたちのため」真摯に向き合ってくれていると感じます。学年での会話も多く、子どもたちを学年みんなで見ていこうという姿勢が見られているのもすばらしいことだと思います。トラブルがあっても毎日子どもたちが落ち着いて学びに向かっているのもすばらしいことです。これからも言葉を多く交わして、情報共有しながら教育活動を進めていきたいです。 ●「KDD」を目標に子供たちも自分たちにできることを模索している最中だと思います。1学期は先生たちから吸収し、2学期はトライ&エラーを繰り返し、3学期はKDDな学校になっていけるとい

と思います。小宮小の課題は学年ごとでしか動いておらず、他学年との関わりが薄いことだと思います。なかなか時間もなくて難しいのが現実ですが。

○いじめ対策の進め方が少しずつ起動に乗り出してよかったです。ありがとうございます。

○小宮小ならではの特色ある取り組みが、教職員の皆さんの協力と努力によって一步一步着実に積み上がってきていると思う。学校を取り巻く環境がますます厳しさを増す中、何よりも皆さんの心身の健康を願っている。

○1学期はコロナが落ち着き日常生活を送ることができた。2学期以降はまた予断を許さない状況が予想される。どんな状況になろうと子供たちにとって充実した1年となるように指導にあたっていきたい。

●○自主的な取り組みをさせる KDD は非常に良いと思いますが、「なぜ KDD なのか」「自分でできるとどんなに良いのか」をもっと定着させていきたいです。

○1学期、よいスタートがきれたと思います。

○KDD が始まり、自主的に動く児童が多く見られます。より多くの児童が自ら動けるように今後も見ていきたいと思います。

○一つ一つの活動を、精一杯準備して実施されていると思います。

○子供たちが自分たちで活動することが良いという価値を理解し始めていて、自分たちで考えて動きたいという意欲が高まってきていると思うので、そこを大切に伸ばしていきたいと思います。そのためにも、私自身が指導すべきことや準備すべきことを考えて過ごしていきたいと思います。

○学校全体で自分の考えを伝えるということを大切にしていることはよく伝わってきます。声を出して伝えていくことを苦手になっている児童もいるので、話すだけでなく、書いて表現していくことの大切さや楽しさも伝えていきたいです。児童の「したい」という気持ちを大切にしながら、今後も学習を組み立てていきたいです。

●○他学年とのかかわりが増えるような学習も考えていきたいです。学校の構造上、他学年の頑張っている様子が見えにくいと感じます。意図的にかかわる学習の仕方を計画できるようにしていきたいです。たてわり班活動がないことで、さらに学年間のかかわりがなくなっているのではないかと感じました。

○いじめや不登校について迅速にたくさんの教員で組織的に考えていくことができ、とてもいいなと感じます。保護者の方にも迅速な対応ができるので、私自身相談にのっていただくことができ、大変ありがたかったです。

○こみっきいの先生方からのこみっきいについてお話が本当に分かりやすく、実際に少しでも子供たちが体験できる内容でありがたかったです。そのような時間を作られていることがいいなと思いました。（朝の時間に余裕があるのでできるのだとも思いました。）特別支援教育の理解を推進していくことをこれからも協力していきたいです。

○SSS さんの今村さんに大変お世話になっております。引き続きお世話になります。ありがとうございます。

○慌ただしくあっという間に1学期が過ぎました。温かい先生方に囲まれてなんとか頑張れた…と思っています。今年度終わりまで、児童も職員も、仲良く安全に、健康に過ごせるよう、私も努力したいです。

○KDD など、子どもたちが意識して過ごしやすいコンセプトがあり、とても素晴らしいと思います。学校一丸となって本気で子どもと向かい合う姿もとても良いと思っています。

○個人面談が、5月にあったことはとても良かった。新学年・学級で、まず安心して過ごせる学級環境を整えるために、保護者から心配事を聞き、情報を得ることが重要だと思う。特に今年度は、もし、個人面談がこの時期になかったら、乗り越えられなかったのではと思うぐらい、助かった。